

9<sup>th</sup>  
2013冬

# エッセイ





# エリトア

フリーペーパー「エリトア」は多くの方にアートを楽しんで欲しいと願うアーティストたちが発行しています。選りすぐりのアート作品の掲載はもちろんワークショップのレポート、アートを通して社会に携わる人々の声、ちょっとしたコラムなど、アートな情報満載です。

## CONTENTS

- P 3 特集～アートに出会うまちあるき～「お散歩みるくうーの川越篇」
- P 8 「第3回 蔵と現代美術展～キラキラヒカル～」レポート
- P10 MACデザインアカデミー
- P11 ネジ立体製作所 第8回「シンプル」/ 古田紀彦
- P11 語り上戸 九杯目「クラフトビール」/ 酔生
- P12 たちはらけいこのイラストワーク ⑦「ポートレート」/ 立原圭子
- P14 縁～仏像奉納プロジェクト～ 第4回「2018年仏像奉納に向けて」/ 三浦耀山
- P15 まんまるくん 第3話「ひっちはいむ」/ 雪丸

編集・発行人 木村和弘  
編 集 笠原美恵  
今井康明  
両岡健太  
ロゴデザイン 高瀬きぼりお  
レイアウト スタジオちっふる

◎ 設置先詳細はHPをご覧ください。 <http://www.eritoart.com>  
◎ お問い合わせは編集部まで。 [info@eritoart.com](mailto:info@eritoart.com)

表紙写真  
三栖右嗣作品「爛熳（らんまん）」より  
撮影協力：ヤオコー川越美術館（三栖右嗣記念館）

街を歩いて、みる・くう・のむ。

そこにアートを組み合わせると、さらに素敵なお散歩になる。

お散歩みるくうーの

# 川越篇

江戸時代は川越藩の城下町として栄え、別名「小江戸」とも呼ばれる川越。戦災や震災を免れたため歴史的な街なみが今も残り、年間620万人もの観光客が訪れる、観光都市。今回の「お散歩みるくうー」では、私設美術館やギャラリーなどの魅力的なアートのスポットでも賑わう、川越の街を紹介します。



ゆったりとした時が流れる、落ちついた空間

# ヤオコー川越美術館（三栖右嗣記念館）



ヤオコー美術館外観。建物の周りを池と小道がぐるりと囲む独創的な造りが目を引く。この建物を見るために、海外から訪れる人も多い。

縁結びで有名な氷川神社の賑わいを抜け、木々の生い茂る小道を下って新河岸川を渡ると、突如広がる静やかな空間。そこにひっそりと佇むモダンな建物が、ヤオコー川越美術館（三栖右嗣記念館）です。スーパーマーケットチェーンストアのヤオコーが、2010年の創業120周年の記念事業に開館しました。ここでは「現代リアリズムの巨匠」と呼ばれる三栖右嗣（みすゆうじ）氏（1927～2010）の作品151点を所蔵、展示。三栖氏の作品に魅かれたヤオコーの実質的創業者が収集を始め、今に至ります。



光差し込むラウンジでコーヒーとキャンメルケーキを食べて、ほっと一息。

作も、その代表的な1枚です。建物の設計は、国内外で多くの建築を手掛け今年（2013年）プリツカー賞を受賞した、伊東豊雄（いとうとよお）氏。館内はふたつの展示室、エンランス、ラウンジで構成され、ラウンジでは、大作「爛熯（らんまん）」を眺めながら、自慢のおはぎやケーキがいただけます。

※プリツカー賞 アメリカのハイアット財団から建築家に対して授与される賞。建築界のノーベル賞とも言われている。

作品左：  
林檎のある風景  
1993年

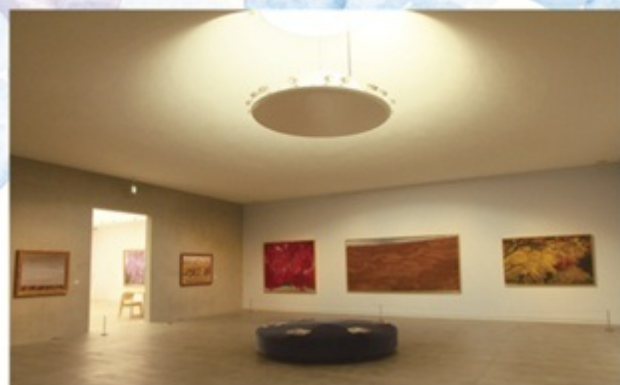
作品中央：  
老いる（習作）  
1974年

作品右：  
秋日  
1999年





ラウンジで常設展示している500号の大作「爛漫(らんまん)」。



**CHECK!**

7ページにヤオコー川越美術館  
からのプレゼント特典があります!

写真上：天から滝が流れ落ち、大地から光が溢れ出ているような柱が美しい、第一の部屋。  
写真下：雲を突き抜け天に吸い込まれるような天井のつくりが印象的な、第二の部屋。天窗からはやさしい自然光が降り注ぎ、上品な空間を演出している。

ヤオコー川越美術館(三栖右衛門記念館)

<http://www.yaoko-net.com/museum/>

〒350-0851 埼玉県川越市氷川町109-1

tel:049-223-9511

開館時間:午前10時～午後5時

休館日:月曜日(休日の場合は翌火曜日) / 12月30日～1月1日

常設展の入館料

一般・・・300円、大学生・高校生・・・200円、中学生以下は無料。

ヤオコー美術館から少し南に歩くと、川越市立美術館があります。季節ごとに入れ替わる企画展や、市民主宰の展示を見るのも面白いかも。また、美術館の裏にある創作棟では、毎月クロッキー会や絵画教室などの創作活動が開催されています。

川越クロッキーアサンプル / 自分でも絵を描いてみよう

## 川越市立美術館



毎月1～2回、川越市立美術館の創作棟で開催される、裸婦クロッキー会。初心者から現役美大生やベテランの方まで、様々な人が参加しています。もちろん、初心者の人も大歓迎。無料セミナーも行っていて、クロッキーの描き方を教えてもらえます。当日申込の参加も可能なので、お散歩の途中に裸婦スケッチにチャレンジしてみたいはかが?

川越クロッキーアサンプル

詳細はホームページをご覧ください。  
<http://www.kawagoecroquisassemble.com>



マオコー川越美術館

水川神社

川越市立美術館  
創作棟

川越市役所

手打そば百丈

鐘



アルテカーサ川越

江戸蔵里

美術館  
ギャラリー  
お食事

川越を代表する観光地、蔵造りの街並み。実はここ、アートの隠れた名所でもあるんです。

## 小江戸でアート散策 一番街商店街

札の辻交差点から続く蔵造りの街並みの中、ひときわ目を引く前衛的な建築物。幕末期に川越藩の御用絵師で活躍した舩津蘭山（ふなづらんさん）氏の作品が常設されている、蘭山記念美術館です。一番街商店街を抜けると見えてくる山崎美術館では、川越藩お抱えの絵師、橋本雅邦（はしもとがほう）氏の作品を展示。川越には、その他にもギャラリーがたくさん。さまざまな展示を鑑賞することができます。

写真上：重厚で威のある蔵づくりの街並み。  
写真下：蘭山記念美術館。その存在感は、小江戸の街並みと比べても決して引けを取らない。



川越市役所斜め前、3階建ての銅板ぶきの建物は、国の登録有形文化財にも指定されている、由緒ある建造物。壁に「つり具」と書いてあるけれど、地元でも大人気のおそば屋さんなんです。

# 自慢の手打ちを 召し上がれ 手打そば 百丈

会津の契約農家から届く石臼碾きのソバ粉を使って、店主が心をこめて打つおそば。おすすめは、香り豊かでコシのある麺に、つゆをかけて食べる「大根そば」です。また、3階はギャラリースペースになっていて、地元作家の展示が見られます。



手打そば百丈

<http://www.100-jo.jp/>

〒350-0062 川越市元町 1-1-15

tel:049-226-2616

木曜定休







駅にほど近い、おみやげ処。  
レストランや併設のギャラリー  
もあるので、お散歩の休憩場所  
にピッタリ。

## 小江戸川越アートマ



# お散歩の疲れはここで癒す 小江戸蔵里（くらり）

小江戸蔵里（くらり）は、旧・鏡山（かがみやま）酒造の建築物を当時の面影を残しつつ改修した、観光施設です。川越の地ビール「COEDO（コエド）」、地

酒の「鏡山」、サツマイモスイーツ「あまたまかりん」など川越ゆかりのお土産や、お総菜やお弁当、地元新鮮野菜を買うことができます。和食レストランもあるので、お散歩の最後に立ち寄ってみて下さいね。

川越まで、都心からは電車で約一時間。蔵造りの街並み歩きながらアートを楽しむ「お散歩みるくらりの川越篇」、いかがでしたか。次はこの街をお散歩しよう。「お散歩みるくらり」の次回もお楽しみに。

小江戸 蔵里（くらり）

<http://www.machikawa.co.jp>

〒350-0043 埼玉県川越市新富町 1-10-1

tel:049-228-0855



## ヤオコー美術館からの PRESENT

特集巻頭で紹介したヤオコー川越美術館から、プレゼントのお知らせです。ページ左下の三角券を持って来館された方に、お好きなオリジナルポストカードを一枚プレゼント。ぜひご来館下さい！  
※お一人様一枚までとさせていただきます。



ヤオコー川越美術館

三橋右副記念館

有効期限 2014年3月31日





# 蔵と現代美術展

## ～キラキラヒカル～

2013年11月「第3回 蔵と現代美術展～キラキラヒカル～」が川越市内の5カ所の会場で開催され、4名の若手現代アーティストと地元の尚美学園大学生グループが展示を行った。発案者であり実行委員長である田村優幸氏と、キュレーターを務めた長谷川祐子氏（東京都現代美術館チーフキュレーター）に、お話を伺った。



荒神明香（こうじんはるか）  
作品名：toi, toi, toi  
素材：事故車のガラス  
破片、モニター

「蔵」という密閉された古い空間に現代アートを融合させる

「川越の蔵を、何かに活用できないだろうか」。現代美術作家・田村優幸氏は、ヨーロッパを訪問した際、古城が展示やイベントに利用されている風景を見て、そう思った。そして帰国

後、地元でもある川越の蔵を一軒一軒歩いてまわり、家主の賛同を得て「第一回 蔵と現代美術展」開催にこぎつけた。蔵と現代アートという新旧の対比・コラボレーションは面白いと話題になり、会場は多くの来場者でにぎわった。そして、今年が三回目。新しい風を吹き込む意味を

夜道を歩いていると、道路脇にふとキラキラと輝くものを見つけた。車が通る度ヘッドライトに照らされ、黒いアスファルトの中で点々と星のように輝き、そこだけ夢のようでした。何なのか気になり、それを一粒拾いよく見ると、それは車が事故でクラッシュした時に割れたフロントガラスの破片だったので。その時、この破片たちは、こうして人々が気付かないどこかで、微細に輝き、きっと忘れられていくのだらうと思いました。私は、この凶器にもなりうる破片を拾い集め、一粒一粒にもう一度光を灯してみようと思い立ちました。（キャプションより抜粋）





宮永亮（みやながあきら）  
作品名：きわ  
作品形態：ビデオアート



狩野晋郎（かのうてつろう）  
作品名：野生のストラクチャ / Savage structures  
素材：陶磁器 / ガラス / プラスティック / 種子 / 植物 / 果実など



松本尚（まつもとなお）  
作品名：KAWAGOE: crossing the river for...

込み、キュレーションを長谷川祐子氏に依頼した。見ていて心惹かれるそれがアートの基本だと思う

長谷川氏は、「たくさんある地方からの発信の中でも、昔からある遺産を活かして展覧会をするのは面白いと思った」と語る。「蔵は、展示用にしつらえた美術館のような空間とは違う。出展者には、蔵も作品の一部として取り込むことができるようなアーティストを選んだ」。

「現代アートの楽しみかたのポイントは？」との問いに、長谷川氏はこう答える。「見ていて心惹かれる。それがアートの基本だと思う。アートを鑑賞するときの大切なステップは3つ。ステップ1では、作品を見て『何だろう？』と試してみる。ステップ2では、解説に目を通すこと。そこにはアーティストが残したキーワードがあるはず。

そして最後に、ステップ3。鑑賞者自身が、作品に自分の記憶や経験を重ね合わせ、自分の内面的な目で作品を見つめてみること」。

現代アートの作品鑑賞では、アーティストからのメッセージを理解するだけではなく、観る側の心がその作品にどれだけ揺さぶられたかが大切になってくる。

「第三回 蔵と現代美術展」は、およそ3000人の来場者が訪れた。田村氏は「若い世代の『川越と蔵』を意識した作品は新鮮で、今までになかった雰囲気漂う、面白い展示になった」と語る。今後は地元商店街と協同し開催することも検討中。出展アーティストを公募で募ることも考えている。

小規模ながらも地域と密着し、積極的に発信を続ける「蔵と現代美術展」の、これからの展開が楽しみだ。



長谷川 祐子（はせがわ ゆうこ）  
東京都現代美術館事業企画課長 兼 チーフキュレーター、水戸芸術館学芸員、ホワイトニー美術館研修（ACC 奨学金）、世田谷美術館学芸員、金沢21世紀美術館学芸課長、金沢21世紀美術館芸術監督を経て、2006年4月より現職。多摩美術大学美術学部芸術学科特任教授も務める。



田村 俊幸（たむら まさゆき）  
美術作家、高校美術教師、「蔵と現代美術展」を立ち上げる。川越市在住。2004年 川越市立美術館を使ったインスタレーション。2006年「まちづくり・泥との出会い」展。2008年「気跡」鳥取砂丘 Project。2010年 横浜開港100周年記念アンデパンダン展。その他多数。



尚美学園大学学生作品



なりたい自分 & 憧れの夢をかなえよう

# 未経験から「プロデザイナー」になる1年

## MAC DESIGN ACADEMY

東京・御茶ノ水のMACデザインアカデミー(MDA)は、デザイン事務所が母体のデザインスクール。現役プロの直接指導で、即戦力となるデザイナーを育成します。Macを使ったデジタルデザインだけでなく、デッサンや色彩構成など、アナログ重視のカリキュラムも充実。デザイン業界への就職活動には欠かせない作品集作りもしっかりサポート。デザイナーへの就職を徹底的にバックアップするので、卒業生のほとんどがプロのデザイナーになります。



ひとりひとりのペースに合わせて指導するので、未経験者の方もデザイン技術や知識を着実に学ぶことができます。



デッサンやレタリングなどの授業も豊富なのが、MDA最大の特長です。

MDAの生徒さんにお話を伺いました。

Q. 前職では何をされてましたか？

A. ヘアメイク・スタイリスト事務所に所属していました。

Q. MDAを選んだ理由は？

A. 一年間で、基礎からしっかりデザインを学べると思ったからです。

Q. クラスの雰囲気はどうですか？

A. 少人数制で先生との距離が近いので、しっかりとサポートして頂けて強いです。様々な年齢層のクラスメイトから、色々な意見を聞いて勉強になります。

Q. デッサンでは何を学びましたか？

A. パソコンのモニターだけでは理解しにくかった、遠近法や陰影の付け方を身につけることができました。

Q. 将来の目標や夢は？

A. 将来はファッション系雑誌のデザインや、ショップのグッズデザインをやりたいです。



福島千鶴さん  
(ビジュアルデザインコース)

MDAのレベルの高い就職用課題作品は  
各企業・デザイン会社でも評判です。



### INFORMATION

20<sup>th</sup>  
MAC DESIGN ACADEMY

MDAは今年で創立20周年を迎えます

- ①資料請求者全員にデッサン教室受講チケットをプレゼント!
- ②通信コースご入学者様にiMacとAdobeソフトプレゼント!

### SCHOOL DATA

基礎から本格的に学べる  
MACデザインアカデミー

MDAには1年間のビジュアルデザインコース、2ヶ月間の短期入門コース、通信教育コースなど、様々なコースがあります。詳しくはHPをご覧ください。

東京都文京区本郷2-13-10湯浅ビル7F  
Tel: 0120-979-178  
(平日10:00~20:30/土曜18:00)  
Mail: mdainfo@joy.co.jp

資料請求受付 / 無料体験実施中

MAC デザイン

Search

10





### 古田紀彦 Furuta Norihiko

1973年埼玉県川口市出身。掘口自動車整備工場勤務。高校卒業後自動車整備士になりネジと共に20年。2009年3月ワークショップにて初制作。2010年9月ネジ立体製作所開設。所長となる。これからは身近にあるネジたちに愛情をこめ命を吹き込みみつづける。

# T ネジ立体製作所 古田紀彦 第8回 シンプル



## ネジ立体製作所

長古田です。今

回の作品は円盤と口ポットですが、この作品達は製作所を開設する前に制作したものです。この時はこんな物を作ろうとして作った訳ではなく、何となくできた作品で、確か30分ぐらいでできたのを思い出します。部品点数も今に比べるとかなり少ないですよ！しかし少ない分とてもシンプルに仕上がっています。当時はこんな作品が多かったですね。

最近では部品点数が多くなり複雑な作品を制作できるように進歩してきました。これは進歩している事だと思えます。それはとても良い事です。し、そうならなければいけないとも思っています。しかし今回の作品運みたいにシンプルに作るのも大事な事だとも思えます。シンプルなもの、複雑な作品をバランス良く制作して行きたいですね！

「ネジ立体製作所」ロゴデザイン：島谷美紗子

# 九杯目 酔生

九杯目 クラフトビール



一般的にビールとは、冷たくて・苦くて・サッパリ・ゴクゴク飲むというイメージかなと思う。これはビルスナーというタイプのビールの特徴。

日本の大手メーカーが作っているビールはほぼビルスナー。でもビルスナーはビールのタイプの中のひとつで他にもたくさんタイプがある。

大手メーカーとは別に小規模の工場で作っているメーカーがあり、そこで作られたものは「クラフト(Craft)ビール」と呼ばれる。ビルスナー以外にも様々なタイプのビールが作られていて、メーカー毎の特徴がある。

間違いを覚悟で言うけど、大手メーカーのビール(特にビルスナー)は喉の湯きを潤すもので、クラフトビールはゆっくり味わうものだと思う。どちらが良いとか悪いとかではなく、シチュエーションに合わせる

良いと思う。

以前、ベルギービールにハマって飲み比べをしていたときに綺麗な青いラベルの瓶を見つけた。「COEDO Rurri」と書いてある。ベルギーかと思っていたけど、裏ラベルを見ると埼玉のメーカーだった。

飲んでみて興味がわいたので調べてみると、COEDOというビールメーカーのRurri(瑠璃)という種類だとわかった。全5種類あり、それぞれラベルの色がそのまま名前になっていて、それぞれの特徴を表している。中でも特に気に入ったのがBeniaka(紅赤)。同名の特産の薩摩芋が原料に使われているそう、今までにない甘味がある。

もちろん、よく冷えた大手メーカーのビールをゴクゴク飲むのも良いけど、クラフトビールをゆっくりのんびり飲むのもまた良い。

いろいろ飲み比べてみると面白い。お気に入りの飲み方が見つかるかもよ。



酔生 Sui Sei  
酒飲んだり・料理したり・印鑑彫ったり・酒飲んだり・イラスト描いたり・映画見たり・仕事したり・酒に飲まれたり・本を読んだり・モンスターをハントしたり・酒飲んだりしながら日々過ごしております。

Illustration : Piro



Keelau たちはらけいこのイラストワーク⑦



この絵のモデルは私の甥っ子です。生後一ヶ月くらいたった甥っ子と兄が同じベッドで寝ている動画の中で、義姉の「同じ格好で寝ています」というナレーションのとおり、ふたりの顔が同じ角度で並んでいるのが、おかしいやら微笑ましいやら。

この絵は、その動画の二コマから描きおこしました。

絵を描くとき、「何を描きたいか」によって完成地点は変わってくるのですが、赤ちゃんのポートレイトを描く場合には、だいたいふたつの点にこだわっています。

全体の色調・バランス、水彩のマチエルなどさまざまな点に意識をやりつつも、対象人物から離れてしまつては意味がないので、例えば「全体のバランスとしては、これ以上ここに手をいれないほうがいい」「偶然出来た顔料の沈殿模様が綺麗だから壊したくない」という場合にも、なるべく手を加えて対象人物に似せる作業を優先させます。

そのあたりの葛藤は絵を描くうえでの醍醐味かもしれません。

ちなみに、これももし「ポートレイト」ではなく「赤ちゃんの絵」だったら、対象に似せるよりも全体のバランスやマチエルを優先させたりします。

もうひとつは、描いている赤ちゃんの未来が明るい希望に満ちている、というイメージを持って描くこと。

これはあえて意識している訳ではないのですが、赤ちゃんの写真を見ながら描いていると、この子の未来にはどんなことが待っているのかな、明るいものかという気持ちはいいな、という気持ちが出てくるので、その感覚を絵にこめるようにしています。

不思議なもので、描き手の感覚はなんとなく作品にもあらわれるようです。だから絵を描くときには、なるべくからっぽになつて不要なものが入らないように注意して描くのですが、赤ちゃんのポートレイトやウエルカムボードのようなお祝いものを描くときには、そこになるべく明るい光や幸せな気配が入るように意識して描いています。

「ポートレイト」  
2011年 制作  
227mm×158mm  
水彩、色鉛筆





■ *profile*

立原 圭子 tachihara keiko

1996年 武蔵野美術大学短期大学部美術科卒業。2007年よりフリーのイラストレーターとして活動。主な仕事にカレンダーやクリスマスカード、年賀状素材集など。2012年 AQUENTカレンダーコンテストに入賞。2013年 あとさき塾へ入塾。繊細でやわらかい作風が広い年齢層に支持されている。

<http://k-coubou.sakura.ne.jp/>





butuzohono project

連載

# 縁えにし

## 仏像奉納プロジェクト

彫刻家・加藤魏山と仏師・三浦耀山が中心となって仏像を彫刻し、被災地に奉納しようという活動を紹介します。



高きからの風景。大槌町(撮影：三浦耀山)

第4回

### 2018年 仏像奉納に向けて

7月30日、我々は大槌町江岸寺を訪ねました。そこで住職から大槌町の復興計画がまとなり、なかなか進まなかった復旧への具体的な動きがようやく始まったことをお聞きしました。それに伴いおおよそではあります江岸寺再建への道筋も見えてきました。

復旧への青写真が見えてきた事で、江岸寺に納める釈迦如来坐像の奉納時期も2018年(予定)に決まりました。当初、亡くなられた多くの命を慰め、被災された方の心に寄り添えるようにと早い時期の奉納を目指していましたが、町と寺の復旧に合わせて納めるのが良いのではないかとということになり、その時期になりました。これから5年という歳月に改めて津波の被害の大きさを思い知るところです。

釈迦如来像の制作も2018年完成に向け進んでおります。まず三浦耀山が1/4の木の原型を作り、それにあわせて加藤魏山も同様に1/4の粘土原型を作りました。これは流派も制



津波到達の地。(撮影：三浦耀山)



原型完成



左原型：加藤魏山作 右原型：三浦耀山作 (photo by Junichi Takahashi)



まんまるくん  
雪丸

第3話  
「ひっちはいむ」



まんまるくんプロフィール  
身長：173ミリ  
性別：不明  
どうやら時空間の旅人で、  
人間に興味をもっている。



## 移転のお知らせ



エリート8号(秋)で紹介した、絵画教室「アトリエアート吉祥寺」が移転しました。明るく広くリニューアル。より駅に近くなり、さらに通いやすくなりました。

吉祥寺駅北口から徒歩4分

アートな街吉祥寺の楽しい絵画教室

atelier

アート吉祥寺

ART KICHIJOJI

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目8-14 本田ビル4階

tel : 0422-23-0136

http://art-kichi.com

Facebook 仏像奉納プロジェクトページ

http://ja-jp.facebook.com/butuzohono

Mail : butuzohono@gmail.com

作技法も違う二人が思い描く釈迦如来像をまずは立体であらわし、これらをもとに意見をたたかわせ完成像を見つげるためにとった手段です。通常の倍の手間がかかりますが、これにより理想の釈迦如来像が見えてくることを期待しております。

原型が完成したこともあり10月には長野県木曾地方にある材木屋へ釈迦如来像の用材となる木曾檜を買い求めに行ってきました。

檜は古来から建築、日用品、そして仏像にと日本で最も愛用されてきた木材です。その中でも木曾檜は厳し

い生育環境もあって大変木目が美しく強靱で、最高級の檜として知られています。

木曾檜は伐採後、数百年に渡り強度を増していき、その後1200〜1300年という気の遠くなるような時間を経て伐採時の強度に戻るといわれています。仏像を彫るには最適な木材です。

2018年の仏像奉納に向け、少しずつですがプロジェクトは着々と進んでおります。

今後とも、私たち「縁々仏像奉納プロジェクト」と被災地への関心



木曾檜の木曾倉庫。(撮影 加藤隼山)

を持ち続けて頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

(文：三浦耀山)



加藤隼山 Katoh Gizan

1968年東京、両国生まれ。埼玉県白岡町在住。高村光雲の流れを汲む仏師・岩松拾文師の下で修業を重ね独立。仏像の他、日本の古典や歴史を題材とした作品を制作。2004年日展入選。09年「木彫三人展」(日本橋三越本店)、「技と和み・木彫秀作五人展」(大阪タカシマヤ)日本橋三越、大阪、名古屋タカシマヤを中心に発表の他、寺院に納める仏像を謹刻。12年、個展(大阪タカシマヤ)。



三浦耀山 Miura Youzan

仏師。1973年埼玉県宮代町出身。京都府京都市在住。1996年早稲田大学政治経済学部卒業。一般企業で働いていたが、かねてよりなりたかった仏師を目指し、1999年大仏師渡邊勢山に師事。以後13年に渡り、師のもとで数多くの仏像彫刻・修理に携わる。2011年雅号を「耀山」とする。2012年独立。拠点を京都市に移し活動を始める。



COEDO

www.coedobrewery.com

Beer Beautiful



ビールの世界最大コンクールでW受賞。

ヨーロッパビアスター2010&2012ゴールドメダル、  
ワールドビアカップ2010シルバーメダル受賞。  
コエドプレミアムビール「紅赤-Beniaka-」香ばしいスイートな香りとまろやかなコク、アルコール度数7%のフルボディ。

エリト

第9号 2013冬

2013年12月15日発行

エリト編集部 〒350-1101 埼玉県川越市大字的場2835-5-201 <http://www.eritoart.com/> E-mail [info@eritoart.com](mailto:info@eritoart.com)  
編集・発行人/木村和弘 ©本誌掲載の文章、写真、イラストなどの無断転載・複製(コピー)は禁じられています。